

「紛争後・災害後復興のリーダーを育成する国際学プログラム」学生募集要項
日本国政府（文部科学省）奨学金学部留学生（大学推薦）〔特別枠〕

金沢大学人間社会学域 国際学類

— 2025年10月 予備教育開始 / 2026年4月 入学 —

金沢大学人間社会学域国際学類の「紛争後・災害後復興のリーダーを育成する国際学プログラム」は、文部科学省から認可された国費奨学金を伴うプログラムです。本学国際学域の審査に合格し、文部科学省から奨学生として採用された外国人留学生には国費奨学金が支給されます。

1 プログラムの概要

(1) 人材育成目標

社会復興に資する国際開発学・国際経済学や平和構築を目指す国際関係論等を、ダイバーシティを重視した学士課程環境の中で日本人学生等と共修することで、紛争後・災害後の復興を支えるリーダーとしての資質を獲得し、引き続き大学院に進学して復興の参考となる学問を研究することにより、将来はその国・地域の復興を担う中核的リーダーとして活躍して、日本とそれらの地域との結びつきを強化し、かつ世界の平和と安定に貢献する人材を育成するプログラムです。

(2) 修了要件及びカリキュラム

本プログラムの修了要件は、教育課程「紛争後・災害後復興のリーダーを育成する国際学プログラム」から 42 単位以上、及び国際学類卒業に必要な単位数（124 単位以上）の修得です。ただし、プログラムから修得した単位は、国際学類の卒業に必要な単位数（124 単位以上）に含むことができます。

なお、カリキュラムの詳細については、本要項 6 ページの金沢大学人間社会学域国際学類教育課程「紛争後・災害後復興のリーダーを育成する国際学プログラム」を参照してください。

ただし、正規課程への入学までにカリキュラムの改定が行われた場合は、当該入学年度のカリキュラムが適用されます。

2 対象

次の全てに該当する者

- ① 学部レベルの外国人留学生として、新たに海外から留学する者（一部日本国内に滞在する者を含む）
- ② 入学後には本学の学生留学生宿舎又は本学がこれと同等と認める場所に居住し、学類教育に加え、日本語、国際関係、国際経済等に関する内容を学修し、紛争や災害に見舞われた地域社会の復興に寄与する意欲のある者

3 募集人員 4 名

4 プログラム開始の時期 2025年10月 1 日
プログラム開始後の流れ

- ① 日本語予備教育（日本語研修生） 2025年10月1日～2026年3月30日
- ② 2025年12月実施予定の「国際学類入学者選抜試験」を受験
*「国際学類入学者選抜試験」は口述試験の得点により選抜します。
- ③ 人間社会学域国際学類（学士課程学生） 2026年4月1日(入学)～2030年3月(卒業)

5 出願資格及び条件

- (1) 国籍 日本政府と国交のある国の国籍を有する者
- (2) 年齢 2000年4月2日以降に出生した者
- (3) 学歴

次のいずれかの条件を満たす者

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年9月末日までに修了見込みの者
- ② 外国において、日本の高等学校に対応する学校の課程を修了した者及び2025年9月末日までに修了見込みの者
- ③ 上記以外の資格により日本の大学入学資格を有する者

(4) 学業成績

在學生は現在在籍する課程の学業成績（社会人は最終学歴の学業成績）が 2.30（学業成績係数）以上であり、本学国際学類入学後においてもこれを維持する見込みのある者

① 「学業成績係数」の算出方法

学業成績は正規課程の成績のみを用い、研究生等（非正規課程や日本語教育機関等）の成績を含めず、社会人は最終学歴の学業成績、在學生は現在在籍する課程の学業成績係数を算出すること。

② 算出手順

下表により「評価ポイント」を算出し、計算式に当てはめて計算すること。

[学業成績係数の算出方法]

区分	成績評価				
		優	良	可	不可
4段階評価		A	B	C	F
		100～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価	S	A	B	C	F
	A	B	C	D	F
	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
評価ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

(注1) 履修した授業について単位制をとらない場合は、単位数を科目数に置き換えて算出すること。

(注2) 編入学している場合は、編入学後の単位数を対象とすること。

(注3) 上表の成績評価にない評価（例えば、「認定」、「合格」など）は対象としないこと。

(注4) 学業成績係数に端数が出る場合は、小数点第3位以下を切り捨てること。

(5) 語学能力

日本語又は英語のいずれかの能力を有する者として、次のいずれかの条件を満たす者

○日本語：日本語能力試験（JLPT）のレベルN2以上に合格している者、又は国際学類入学前の予備教育修了時点でN2相当以上の日本語能力を有する見込みのある者

○英語：国際学類入学時点で英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のB2相当以上の資格・検定試験のスコアを有している者（検定試験は、リスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの4技能を計測できる試験であること）、又は日本の大学への入学資格を満たす教育課程を、英語を主要言語として修了した者

* CEFRのB2相当以上：TOEFL-iBT 72～ IELTS 5.5～

Cambridge English FCE 160～

(6) 健康 日本留学について心身ともに支障がないと認められる者

(7) その他

次に掲げる事項の一つでも該当する者については対象外とします。

- ① 現役軍人又は軍属の資格の者
- ② 文部科学省又は受入大学の指定する期日までに渡日できない者
- ③ 過去に日本政府（文部科学省）奨学金留学生であった者（学籍発生後辞退者を含む）
- ④ 日本政府（文部科学省）奨学金制度による他の2025年度奨学金支給開始のプログラムとの重複申請をしている者
- ⑤ 奨学金支給開始後（受入大学における学籍等発生後）に日本政府（文部科学省）以外の機関（自国政府機関を含む）から奨学金を受給することを予定している者
- ⑥ 「卒業見込みの者」であって、所定の期日までに学歴の資格及び条件が満たされない者
- ⑦ 申請時に二重国籍者で、渡日時（受入大学における学籍等発生時）までに日本国籍を離脱したことを証明できない者
- ⑧ 申請時から日本以外での研究活動（インターンシップ、フィールドワーク等）や休学等を長期間予定している者
- ⑨ 学位取得を目的としない者

6 奨学金等

(1) 奨学金支給額 117,000円/月（予定）

(2) 奨学金支給期間

- ① 日本語予備教育（日本語研修） 2025年10月～2026年3月（6か月）
- ② 国際学類（学士課程学生） 2026年4月～2030年3月（4年）

(3) 旅費

- ① 渡日旅費：留学生の居住地最寄りの国際空港から成田・関西・小松・富山空港までのエコノミークラス国際線航空券を交付します。
- ② 帰国旅費：成田・関西・小松・富山空港から留学生の居住地最寄りの国際空港までのエコノミークラス国際線航空券を交付します（奨学金支給期間終了月内に帰国する者に限る）。

(4) 学費

検定料（17,000円）、入学料（282,000円）及び授業料（535,800円/年）は不徴収とします。

(5) 学生保険料

本学では、学生生活における事故等に備え、学生保険への加入を義務付けています。なお、学生保険料については自己負担とします。

学生保険名：「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」及び「学研災付帯賠償責任保険（学研賠）」
学生保険料：〔4年6月分〕6,000円（予定）

7 応募手続

応募者は、次の提出書類を日本時間の 2025年4月14日（月）（PDF電子データ必着）までに、出願の内諾を得た指導予定教員を通じて、本要項5ページに記載の担当係（応募書類提出先）へ提出してください。

なお、提出書類は、日本語又は英語で作成してください。日本語又は英語以外の言語で作成する場合は、日本語又は英語による訳文を添付してください。

提出書類

- ① 申請書の頭紙（チェックリスト）Application Cover Sheet ……指定様式
- ② 申請書 Application Form ……指定様式
- ③ 写真（最近6ヵ月以内に撮影したもので4.5×3.5 cm、上半身、正面、脱帽とし裏面に国籍及び氏名を記入し申請書の所定の場所に貼付のこと。また、Eメールで写真の電子データも送付すること。）
- ④ パスポートの写し（写真のページ）
- ⑤ 最終出身学校（高等学校又は大学）の成績証明書（出身学校で発行したもの）
- ⑥ 最終出身学校（高等学校又は大学）の卒業（見込）証明書又は学位記
- ⑦ 日本語能力又は英語能力を証明する書類
 - (ア) 日本語能力を証明する書類 日本語能力試験（JLPT）のスコアの写し
 - (イ) 英語能力を証明する書類（2022年11月以降に取得したスコアの写し）
TOEFL (iBT)、IELTS、Cambridge English FCE のいずれかがCEFR B2相当以上であること。
- ⑧ 在学証明書（大学等に在籍中の者のみ）
- ⑨ 健康診断書 ※医療機関に所属した医師が正式に証明したもの ……指定様式
- ⑩ 誓約書（Pledge to KU） ……指定様式

【注意事項】

- * 提出書類はA4サイズとしてください。
- * 不備があるもの、間違っているもの、期限後に提出されたものは受け付けません。
- * 提出書類は返却しません。
- * 志願者は、予定指導教員の内諾を得る前に必ず予定指導教員と面接をしてください。インターネットによる面接も可とします。

8 選考及び結果通知

- (1) 選考委員会が設置され、学業成績、日本語・英語能力、面接結果等に基づいて選考します。
- (2) 本学からの推薦に基づき、文部科学省が奨学支援を行う外国人留学生の採否を決定し、2025年7月中（予定）に国費奨学生の採否結果を申請者に通知します。

9 奨学金支給の停止

次の場合には、奨学金の支給を取り止めることがあります。

- (1) 申請書類に虚偽・不正の記載があることが判明したとき。
- (2) 誓約事項に違反したとき。
- (3) 日本の法令に違反し、無期又は一年を超える懲役若しくは禁固に処せられたとき。
- (4) 本学の学則等に則り、懲戒処分として退学・停学・訓告及びこれらに類する処分を受けた場合あるいは除籍となったとき。

- (5) 学業成績不良や停学、休学等により標準修業年限内での修了が不可能であることが確定したとき。
- (6) 「留学」の在留資格を新たに取得せずに渡日したとき又は「留学」の在留資格が他の在留資格に変更になったとき。
- (7) 他の奨学金（使途が研究費として特定されているものを除く）の支給を受けたとき。
- (8) 採用後、進学に伴う奨学金支給期間延長の承認を受けずに上位の課程に進学したとき。
- (9) 退学したとき又は他の大学に転学したとき。
- (10) 1年毎の各時点における学業成績係数が 2.30 を下回ったとき。

10 不可抗力による変更

不可抗力により、採用通知の前後いかなる時点でも、渡日日程が変更されること、奨学金が取り消されること又は本募集要項に記載した内容が変更されることがあります。

なお、不可抗力とは、文部科学省の合理的な支配の及ばない事由であり、天災、政府（地方政府を含む。以下この項において同じ）若しくは政府機関の行為（感染症に関する日本政府又は各国政府の出入国制限、渡航制限などの水際対策を含む）、法律規制若しくは命令の遵守、火災、暴風雨、洪水若しくは地震、戦争（宣戦布告の有無を問わない）、反乱、革命若しくは暴動又はストライキ若しくはロックアウトを含みますが、これらに限定されません。

11 その他

- (1) 学生留学生宿舎は、国際交流を推進しグローバル人材を育成することを目的に、外国人留学生と日本人学生が1つのユニット（男女別）で生活するシェアハウス型の学生寄宿舎です。
生活に必要な基本的な家具・家電が備えられているほか、大学キャンパス内に設置されているため通学にとっても便利です。
- (2) 渡日後、奨学金を支給するまでに1か月から1か月半程度必要なため、当座の生活資金として、最低2,000米ドル程度を用意してください。
- (3) 渡日に先立ち、日本語の学習を行ってください。また、日本の気候、風土、習慣、日本と母国の法制度の違いの理解に努めてください。

【問合せ先・応募書類提出先】 金沢大学人間社会系事務部学生課大学院・留学支援係担当

Address: 920 - 1192 石川県金沢市角間町

Tel: +81-76-264-5952

Fax: +81-76-264-4167

E-mail: n-ryugak@adm.kanazawa-u.ac.jp

URL: [https://](https://www.kanazawa-u.ac.jp/) https://sis.w3.kanazawa-u.ac.jp

科目区分	授業科目名	共通/専門	区分	配当年次	単位区分	単位数	プログラム 修了要件
国際学基礎科目	国際学入門	専門	専門基礎	1	選択必修	1	選択必修1単位を 含む4単位以上
	国際学入門E	専門	専門基礎	1	選択必修	1	
	現代世界への歴史的アプローチ	共通	GS	1	選択	1	
	グローバル時代の政治経済学	共通	GS	1	選択	1	
	グローバル時代の社会学	共通	GS	1	選択	1	
	哲学(自我論)	共通	GS	1	選択	1	
	グローバル時代の国際協力	共通	GS	1	選択	1	
	環境学とESD	共通	GS	1	選択	1	
現代社会と人権	共通	GS	1	選択	1		
日本語または英語	日本語中級	共通	GS言語	1	選択必修	8	日本語8単位または 英語8単位選択 必修
	日本語上級	共通	GS言語	1	選択必修	8	
	TOEIC準備 I~IV	共通	GS言語	1	選択必修	4	
	EAP I~IV	共通	GS言語	1	選択必修	4	
復興関連科目 (政治系)	国際関係論	専門	専門	2	選択必修	2	選択必修2単位 を含む 8単位以上
	国際関係論E	専門	専門	2	選択必修	2	
	国際協力論 1~2	専門	専門	2	選択	2	
	国際機構論E	専門	専門	2	選択必修	2	
	国際法概論 A~B	専門	専門	2	選択	2	
	平和構築論E	専門	専門	2	選択	2	
	外交入門 1E~2E	専門	専門	2	選択	2	
	憲法(統治) A~B	専門	専門	2	選択	4	
	憲法(人権) A~B	専門	専門	3	選択	4	
	政治学A	専門	法専門	2	選択	4	
	政治学B	専門	法専門	2	選択	4	
	国際経済学 1~2	専門	専門	2	選択必修	2	
復興関連科目 (経済系)	国際経済学 1E~2E	専門	専門	2	選択必修	2	選択必修2単位を 含む8単位以上
	国際貿易論 1~2	専門	専門	2	選択	2	
	国際貿易論 1E~2E	専門	専門	2	選択	2	
	国際開発論 1~2	専門	専門	2	選択必修	2	
	国際開発論 1E~2E	専門	専門	2	選択必修	2	
	計量経済学*	専門	専門	2	選択	2	
	グローバル経済史*	専門	専門	2	選択	2	
	ミクロ経済学 I	専門	学域GS	2	選択	1	
	マクロ経済学 I	専門	学域GS	2	選択	1	
	世界経済論*	専門	経済専門	3	選択	2	
	グローバル・エコノミー*	専門	経済専門	3	選択	2	
	異文化理解 1~2	専門	専門	1	選択	2	
社会リーダー養成科目	ジェンダーと社会 A~B	専門	専門	1	選択	2	実践・実習型科 目2単位を含む10 単位以上
	比較ジェンダー論E	専門	専門	2	選択	2	
	マイノリティとメディア文化論 1E~2E	専門	専門	2	選択	2	
	多文化主義論 1E~2E	専門	専門	2	選択	2	
	比較教育学 1E~4E	専門	専門	2	選択	4	
	インターンシップ** —6—	専門	専門	3	選択	2	
	異文化体験実習**	専門	専門	3	選択	2	
	哲学概論 A~B	専門	人文専門	1	選択	2	
	応用倫理学	専門	人文専門	2	選択	2	
	現代哲学	専門	人文専門	2	選択	2	
	社会システム論	専門	地域創造専門	2	選択	1	
	市民自治論	専門	地域創造専門	2	選択	1	
	政策学基礎論	専門	地域創造専門	2	選択	1	
	リスクコミュニケーション**	専門	地域創造専門	2	選択	2	
	公共哲学	専門	地域創造専門	2	選択	1	
	科学技術と社会**	専門	地域創造専門	2	選択	1	
	減災・防災と地理学**	専門	地域創造専門	2	選択	2	
	防災学入門**	共通	自由履修	1	選択	1	
	融合学域「専門基礎科目」「専門科目」の授業科目のうち指定された科目	融合専門	—	—	選択	—	
	理工学域地球社会基盤学類「専門基礎科目」「専門科目」の授業科目のうち指定された科目	理工専門	—	—	選択	—	
42単位以上						4単位以上	
修了要件							

注1 本プログラムの修了には、所属学類の卒業要件も同時に充足しなければならない。

注2 上表に係わらず、代替履修科目や履修時期等を指定することがある。

注3 授業科目欄の授業科目名にEが付く科目及び*が付く科目は、すべて英語で行われる授業科目。科目区分欄がGSの科目には英語クラスが存在。授業科目欄の授業科目名に**が付く科目は実践・実習型授業科目

注4 共通/専門欄は、それぞれ次のとおり。「共通」…共通教育科目 「専門」…国際学類専門教育科目

「人文専門」「法専門」「経済専門」「地域創造専門」…当該学類専門教育科目 「融合専門」「理工専門」…当該学域専門教育科目